



やまゆり

学校だより

令和5年2月27日

87号

学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
 学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー
 校内研究主題 「WEBQUを活用し学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「 小 学 校 と の 連 携 」

小学6年生に高村先生が音楽の学習指導をしました

2月24日(金)の6校時に高村先生が、小学6年生に音楽の学習指導をしました。市川先生の理科に続き2度目の6年生への学習指導です。6年生の中学入学に際して、「児童の不安を下げ、期待を高める目的」で学習指導をしました。

前回に引き続き、担任の新田先生と綿密な打合せをしました。児童の思いや実態を知らずに指導をすると、「良かれと思って声かけをしても、逆効果」もあり得ます。研究主任をしている高村先生が自ら、本校の校内研究で取り組んでいる「単元を貫く、課題解決学習」や「個別最適な学び、協働的な学び」を実践してくれました。

9名の児童全員が学習指導に参加し、「音楽の学習が楽しかった」、「中学校での学習が楽しみ」、「だいたい、中学校の学習の様子があった」等の感想を得ることができました。

また、参観した小・中学校の教職員が実践から共に学ぶ学習の機会にもなりました。

小学校6年間の学びや人間関係の良好さを基盤に、中学校でさらに一人一人のもっている力を育成できるように努力していきたいと思ひます。

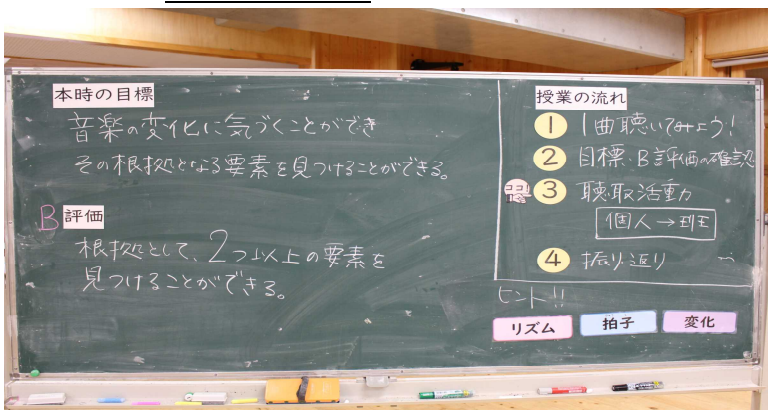
本校の研究主任 高村先生



9名全員が学習指導に参加・小中の教職員も参観



学習目標 何が、どの程度できれば良いのかを明確に提示 高村先生の学習指導から学ぶ



- ①情報交換・QU等を通じて児童に適切な個人指導・集団指導をする。
- ②できていることを確実に評価する。
- ③「B目標」の提示と習得の徹底。
- ④課題設定の追求で各自自分の考えを根拠を用いて表現し交流する。
- ⑤めあての達成と学級満足度向上。

課題設定により、各自が自分の考えを形成し、ICT活用で交流を通してめあての達成を促進する



6年生9名の学習後の感想

- 楽しく音楽を学べたし、中学校の授業にも備えることができた。そして、音楽の変化にもしっかり気づくことができて、目標も達成できた。
- 今回の授業でとても分かりやすく、楽しくできた。中学校に行くことが楽しみになった。
- 場面の移り変わりなど小学生では注目しなかったようなことまで学習して、難しかったけれど楽しくできた。
- 中学校の音楽を体験できて楽しかった。場面を意識して聞いたら、「前よりも音楽が楽しくなりそうだな」と思った。中学校の音楽が楽しみです。
- パソコンで意見を共有できて楽しかったです。場面の変化を見つけることが楽しかった。
- 中学校の授業も2度目で大体分かったので良かった。音楽も理科と同じでB評価があることを知ることができた。また、楽しくできた。
- 今回の授業を受けて、音楽への関心が高まりました。
- とても楽しく、自分から意見も出せて良かった。
- 楽しかった。授業を集中して受けることができた。

「学習目標に対する振り返り」の一部を紹介

- 目標を達成することが出来た。みんなの意見や先生の話聞いて、自分では気づけないことに気づくことができた。
- 音楽の変化にたくさん気づくことができた。その変化の根拠を見つけて書くこともできた。
- いつも音楽の変化を意識して聞くことはなかった。しかし、今回の授業の音楽の変化やその根拠について知る事ができた。

参観した教職員の高村先生の学習指導からの学び(一部紹介)

- 小学校
- 学習目標や学習の流れの提示が明確で、生徒に理解させることがとても良い。
 - 音楽の学習におけるICT活用は、とても参考になりました。
 - 子供たちが「安心」して授業に参加している。その指導力は素晴らしい。
 - 小学校とは学習時間に差があるが、5分の違いであそこまで指導するのは流石。
- 中学校
- 考えが違うなんて最高！全然大丈夫！反応がすごい！等、良い点を評価して強化。
 - B評価の基準が明確で生徒自身が自律した学習者として自己調整できる指導である。
 - 個別最適な学びと協働的な学びを実践。しかも切り替えの良さを生かした学習指導。

学校教育重点目標 「 P T A と の 連 携 」

2023年度「単位PTA会長候補等役員予定者研修会」で
道志中学校のPTA活動について発表しました

2月25日(土)に、山梨県PTA協議会主催、山梨県教育委員会後援の「2023年度単位PTA会長候補等役員予定者研修会」が、南アルプス市の「桃源文化会館」で開催されました。先に学校便りでお知らせしたとおり、「PTA活動の実践報告」の中学校の部で本校のPTA活動を発表して欲しいと依頼を受け、校長が代表して発表しました。

発表後に本校の実践に対して以下の質問や御意見を頂きました。※当日の発言順に記載

1 学校の教育活動でまず、教職員がチームとなって標準化検査のWEBQUを活用して実証研究をし、教育課題に対して多くの成果を挙げている点が素晴らしい。

2 初めてこのような指導方法があることを聞いた。「WEBQU」について説明して頂きたい。

※口頭で簡単に紹介。

全国で500万人の小・中・高校生等に調査されている実績があり、山梨県でも数多くの学校で採用している。特徴は、①生徒の認知を優先する②早期発見、早期対応で予防する③全教職員で実行する等の特徴がある。

しかし、データの「活用」や「実践」が難しい面もあり、検査をして使えば成果が出るのではないことも説明しました。

3 いじめや不登校予防等の命や人権、生徒の悩みへの対応を第一優先に指導し、キャリア教育等も含めてPTAと連携して推進している点がとても良いと思う。県内で推進したい。

3 新制服の制定をPTAの方々どどのようにしたのか説明して欲しい。

防寒、防暑、ジェンダーへの対応を考え、教育委員会に相談しながらPTA役員さんも含めて「制服検討委員会」を組織して、生徒・児童・教職員・小中の保護者・教育委員会等の意見を聞きながら制定したことを伝えました。

※会が終了してからも新制服や名札の使用等について問い合わせがあり説明しました。

研修会の内容

8:30～ 県の役員さん・役員をしている教職員等集合 打ち合わせ・準備

9:00～ 受付開始

9:30～ 開会式 9:40～ 表彰式 ・文科大臣・日P・県PTA・広報誌等

10:05～ 「単位PTA活動実践報告」 ①玉穂南小学校PTA ②道志中学校PTA
③笛吹PTA連合会 計3団体の発表

10:55～12:25 教育講演会 「ヤングケアラーについて」 12:30 閉会

PTAは、(Parents 保護者)、and Teachers(教職員)Association(組織)です。

研修会の様子

駐車場の誘導に向かう役員さん



300人以上の会場準備



教職員の代表の方々も参加



県のPTA会長挨拶
先生と一緒に良い教育
活動を推進するための組織

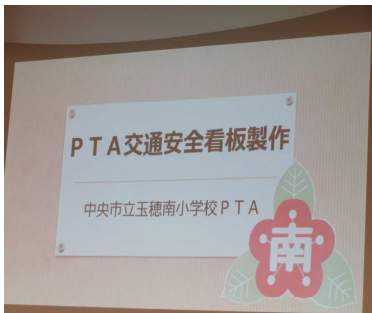


文部科学大臣賞等の表彰

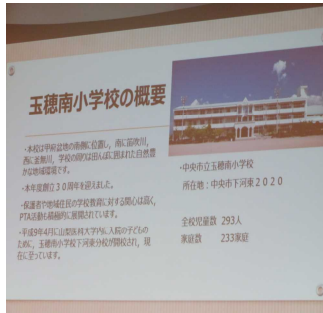
↓
小淵沢小学校PTA・吉田中学校PTA・笛吹PTA連合会・個人



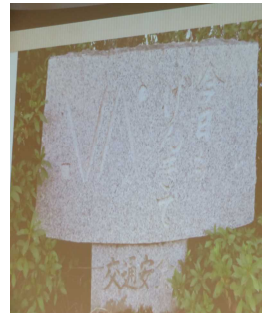
小学校PTA実践発表玉穂南小



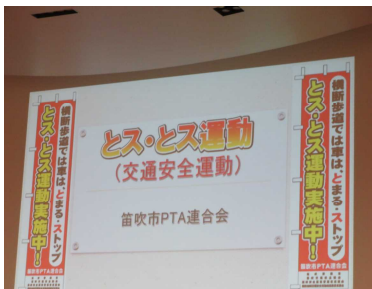
交通事故で亡くなった児童の碑



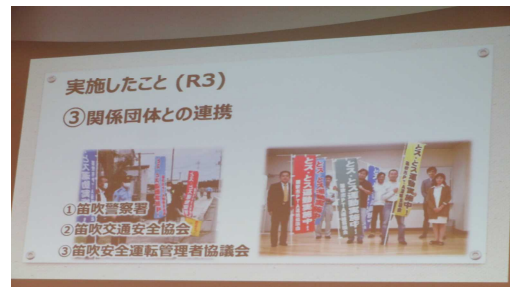
↓
交通安全看板の作成



笛吹PTA連合会の交通安全に関する取り組み



のぼり旗設置や児童・生徒への安全教育



道志中学校PTA活動の紹介の一部

道志中学校PTA活動の紹介(一提案)

- 提起1 学校教育の現状と連携・協力体制の必要性
- 提起2 学校の教員にしかできない、「学級や学校の安定と活性化」の実践と成果
○「共通指標」を教職員のチームで活用し、教育課題を総合的に改善する。
- 提起3 本校のPTA活動の実践例の紹介
 - ①いじめ防止(生活部会)
 - ②キャリア教育(文化部会)
 - ③環境整備・安全指導(体育部会)
 - ④新制服の制定

提起2 学校の教職員がすべきこと 学級・学校の「安定と活性化」を重視

- ① 特別支援の生徒の受け入れが前提・充実(インクルーシブ教育や多様性を認められる集団)
- ② いじめや不登校の予防
- ③ 主・対・深の学習による資質・能力の育成
- ④ 教職員の年齢や経験の差への対応
- ⑤ 学校の信用・信頼の向上
- ⑥ 学級や学校が安定しており、生徒や教職員に余裕があると連携活動の成果も大きい。

③ PTAによるキャリア講話会

